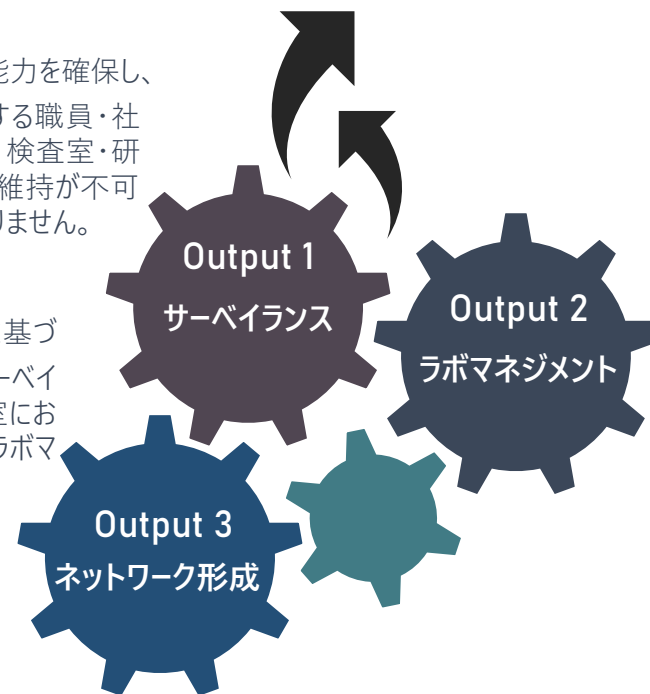


# ザンビア国立公衆衛生研究所レファレンス・ラボラトリー (ZNPHRL) のラボマネジメント能力強化

プロジェクト目標  
ZNPHRL のラボベースサーベイランス能力が強化される



**公**衆衛生上の脅威に対する十分な診断能力を確保し、その質を保証することに併せて、検査に従事する職員・社会・環境に対する健康と安全を守るためには、検査室・研究所の管理のための整備されたシステムとその維持が不可欠であり、また、継続的に改善されなければなりません。

**私**たちのプロジェクト目標でもある、検査に基づくサーベイランスの信頼性を高めるためには、サーベイランスシステムの確立と同時に、上述の検査室における公衆衛生検査の質を保証する機能的なラボマネジメントシステムが必要です。

私たちは、ザンビア国立公衆衛生研究所レファレンス・ラボラトリー (ZNPHRL) において、左記の3つの分野を対象とした活動を通じて、ラボマネジメントシステムの強化に取り組んでいます。

私たちのプロジェクト活動は、ザンビアの公衆衛生セクターが公衆衛生上の脅威に対して高いレジリエンスをもって対応し、信頼できるサーベイランスに代表されるような質の高い日常的な公衆衛生サービスを提供する能力を強化することに貢献します。

プロジェクト  
チーム



サーベイランス専門家、  
ラボマネジメント専門家、  
業務調整専門家から成る  
JICAプロジェクトチーム  
およびZNPHRL職員に  
よって構成されています



成果2  
プロジェクト  
活動



ラボマネジメント活動は  
主に (1) 質管理、  
(2) バイオセーフティ・  
バイオセキュリティ、  
(3) 機材管理を  
対象としています



# ザンビア国立公衆衛生研究所レファレンス・ラボラトリー (ZNPTRL) のラボマネジメント能力強化



検体質管理のための  
サンプリングサイト視察



ギャップアセスメント

## 質管理システム (QMS)

QMSは、検査室サービスを向上させるための基本システム/管理プロトコルです。検査前（サンプリング、検体の保管・発送）、検査（検査手順）、検査後（記録・報告等）の全検査プロセスの管理に加え、設備機器と安全面を含む検査の質に関わる検査室組織体制（組織、職員、調達・在庫管理、文書化と文書および記録の保管、内部・外部評価など）のすべてを管理・統制の対象として、PDCAサイクルにのせた継続的な改善を行います。

### 活動：

- ZNPTRL戦略計画の策定支援
- QMS実践支援：
  - ギャップアセスメントの実施
  - 年間質管理計画の策定と実践
  - マネジメントレビュー会議の開催
  - 在庫管理 etc.
- ザンビア保健省と協同した質管理研修プログラム実施
- サーベイランス検体の質確保のためのサイト視察 etc.



BSBSトレーニング

## 機材管理

安全な検査工程と信頼できる検査結果を提供するために、検査機器と施設を持続可能かつ適切に管理することは、検査サービスの提供に不可欠です。

### 活動：

- 機材管理計画策定支援
- 基本的な機器メンテナンス技術研修支援
- 機器校正研修支援
- 基本的な機器メンテナンスと校正の実施 etc.



## バイオセーフティ・バイオセキュリティ (BSBS)

バイオセーフティは、病原体や毒素の安全な取り扱い（意図しない曝露の予防）と封じ込めのための原理・原則とそれに基づき講じる措置のことです。バイオセキュリティは、病原体や毒素の意図的または過失による放出、盗難、誤使用等を防止するために講じる措置のことです。

公衆衛生レファレンス・ラボラトリーでは、公衆衛生上の脅威となる感染症検体の取り扱いが想定されるため、検査に従事する職員・社会・環境の安全と健康を守るために、BSBS強化とその厳格な遵守、そしてBSBSにかかるリスクの管理が求められます。

### 活動：

- 病原体・検体取扱のためのバイオリスクアセスメント支援
- BSBS強化の側面からのラボ環境整備・再アレンジ
- 病原体等取扱にかかる他研究所との知識・経験交換のための交流支援
- バイオセーフティにかかるトレーニング・勉強会の開催 etc.



BSBS勉強会